

# 第18回 創造ものづくり教育フェアinえちご

## 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール 実施要項

- 1 目的 中学校技術・家庭科で学習した内容を生かし、ものづくりの技能向上を図り、物をつくることや活用の喜びを味わうとともに、実践・発表の機会とする。作品を通して、生徒の技術能力を評価し、ものづくりの技術を競う全国大会参加の県予選を行う。
- 2 日程 作品提出締め切り :平成 30 年 10 月 12 日 (金) 必着  
作品審査 :平成 30 年 10 月 19 日 (金) 予定
- 3 課題および製作上の注意点について (基本的に平成 28 年度のものと同様)
  - ① 課題『バッグ』
  - ② 使用する布の合計面積は 110 c m×50~100 c mとする。使用する布は、複数種類使ってもよい。古着を布として利用することは可能だが古着に付いているポケットやファスナー、ボタン等の部分をそのまま利用することは認めない。キャラクターの布は不可とする。
  - ③ 『バッグ』について
    - ・裏地は付けずに一重仕立てとする。(縫い目審査を行うため。)
    - ・立体構成にする。
    - ・『バッグ』の口がふさがるようにする。(中身のでない工夫をする。)
  - ④ デザインの工夫は『バッグ』本体とする。
    - ・裁断後の残布の量をできるだけ少なくする工夫を入れる。布目方向は丈夫さなどを考慮する。(布目方向が異なるパーツもあってよい。)
    - ・入れるものの使用目的に合わせた布選びや、強度が耐えうる縫い目及び縫い代の始末をする。
  - ⑤ ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。※貼り付けポケットを必ず1つ付けること  
(ポケットのうち必ず1つは、ポケット口を三つ折りにし、手でまつり縫いをする。)
  - ⑥ スナップは1つ以上付ける。(ボタンを付けることは可能)
  - ⑦ 材料費は、2000円程度とする。
  - ⑧ 製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書き(ペン書き)をして、A3カラー印刷(片面)で2枚提出する。(レポートの原本は提出せずに本人が保管する。)

---

以下は全国中学生創造ものづくり教育フェアにおける注意点

- ⑨ 型紙の作成は事前に行い、当日の競技は『布を整え、型紙の配置』から始めることができるようにする。(しわになりやすい布を利用する場合は持ち運び方を工夫する。当日にアイロンがけが必要な場合は、競技時間の中で行う。)
- ⑩ 『バッグ』につける装飾品は事前に製作しておくことは認めない。(競技時間内で製作する。)
- ⑪ 当日製作した『バッグ』を使い、実際に入れるものを用いて2分程度の発表会を行う。その際に利用方法とものづくりの視点についてスピーチする。(掲示物を利用する場合は模造紙1枚程度とする。ただし掲示物は評価対象ではない。)
- ⑫ 競技時間は3時間30分とし、時間内に完成させる。

#### 4 費用

- ①参加費 無料
- ②材料費 2000円程度（自己負担）
- ③各地区からの代表参加にかかわる経費は、各校（自己）負担とする。なお、主催者および新潟県技術・家庭科研究会からの助成はない。

#### 5 表彰

- |              |       |    |
|--------------|-------|----|
| 新潟県技術・家庭科研究会 | 会長賞   | 1名 |
| 新潟県技術・家庭科研究会 | 技術賞   | 1名 |
| 新潟県技術・家庭科研究会 | アイデア賞 | 1名 |

#### 6 参加申し込みについて

- ① 申込期限 平成30年10月12日（金）

- ② 申込先  
送付先

|  |
|--|
| 〒943-0803<br>新潟県上越市春日野1丁目9番3号<br>上越市立春日中学校 齊藤 直美 宛<br>Tel (025) 522-4811 Fax (025) 522-4812<br>E-mail <a href="mailto:nsaito@jorne.or.jp">nsaito@jorne.or.jp</a> |
|--|

- ③ 申込方法 以下の3点を送付する。

- ・作品
- ・手書きの製作レポート（A3カラー印刷）2枚  
（全国大会と同じ形式 全日中 Web より）<http://ajgika.ne.jp/>
- ・申込書兼参加応募書 1部（新潟県技術・家庭科研究会 Web より）  
<http://niigata-gika.jp/>

#### 7 審査員

上越教育大学 特任教授 佐藤 悦子 様

#### 8 審査日程および結果発表

- ・平成30年10月19日(金) 予定  
入賞者については在籍中学校に通知する。
- ・上位2名については12月に行われる関東甲信越地区大会新潟大会に作品を出品する。